

2014. 10 VOL79 おいしいおとうふを求めて
社長のひとり言 株式会社手造り屋 社長の岩崎勉です。



おとうふ日和

おとうふは、どんな薬よりも勝るもの。そのままよし、煮てもよし、焼いてもよし。
本物の食はすぐそこにありました。

今月は21年間知らなかった、母の俳句を載せて見たいと思います。
母はお茶をやっていたので宗楽という名前です。我が子を想う気持ちが俳句に感じられる
ので写真をとって見ました。



母はなぜ知らせなかったのだろうか。
平成5年に豆腐工場新設したときにうたった
一句です。かげで我が子頑張れと応援してくれた、親心
親ってこんなに心配してくれるのだなど、感心しました。
でもお礼を言いたくても今はいません。
額に入れて仏壇に立て掛けて毎朝手を合わせ、有り難う、
感謝しています。とお礼を言っています。
今この時期、豆腐業界に限らず、小企業は本当に大変
と思います。震災以降電気代の値上がり、重油、
ガソリン、の値上がり、そして大豆の高騰、など
真面目に商売しては、皆さんが考えている以上に
大変な時期です。2014年この時代 豆腐業界も
寡占化になりつつあるのかな？と思っています。
豆腐屋としては残れる人はよほどの努力した人だけ、
と、感じているこの頃です。

この不安定な時期に見つけた励ましの母の俳句 後ろに母と父がいるようです。

『小企業 むずかしき世の営みを 吾が子のりきれと 朝な祈るも 』

平成5年 好日 宗楽

見つけたのはこの厳しい時期平成26年好日、あの世で頑張れといっている母の声が聞こえるようです。頑張っていきたいと思います。おくふろさんありがとう。

ひとり言、「平成26年10月31日 日銀から追加金融緩和の話があり、株の暴騰、円安がさらに進み、忘れられない日でした。日銀の黒田総裁から記者会見の席で、重油など燃料が下がってきたので2%の物価上昇の目標にならないということで、この緩和は自信をもって正しいとの発言ありました。

重油など燃料の値段が下がってきて少しずつ好天に向かうことを期待していた矢先、燃料の価格が下がることは良くない発言。 理解できない！！

